

国語科 学習指導案

1 対象 第二学年 四組 41名

2 日時 令和3年6月10日 木曜日 第1校時(9:15~10:00)

3 場所 424教室(2-4HR教室)

4 単元名・教材 現代文B 評論(二)『「内的成長」社会へ』

5 単元目標

- ・筆者の主張を論理的に説明することができる。[読]
- ・筆者の主張を受けて、現代の諸問題に対する興味・関心を広げる。[関・意・態]
- ・現代の諸問題についての自分の意見を他者にわかりやすく伝えることができる。[話・聞]
- ・他者の意見を聞き、自分のものと比較してより深めることができる。[話・聞]
- ・語句の意味を正しく説明できる。[知・理]

6 要旨

(1) 教材観

当該教材は、上田紀行『生きる意味』(二〇〇五年・岩波書店)の第六章「「内的成長」社会へ」の1. 苦悩を支え合うコミュニティー、2. 新しいコミュニティーのあり方(p158~167)の中から必要に応じて文章を整えたものである。かつて私たちを支えていた「中間社会」は、グローバリズムの広がりによって崩壊し、「個」の責任が強くなっている現代において、自らの生きる意味を見だし、支え合う環境は見つけづら。当該教材は、指示語・接続後から筆者の主張を導き、読解するのに適切な教材であるのに加えて、現代を生きる我々が筆者の主張を受けて、自分がよりよく生きるためにどのような社会を作り上げるべきなのかを考える機会となりうるものである。

(2) 指導観

本教材は比較的的文章の構成がシンプルなものであるため、ただ指示語や接続語で文章の流れを追うだけでなく、自分の言葉で筆者の主張について論じる力を培うことが必要である。そのため授業は、最初に読解のためのワークに取り組み、その後解説や具体例を紹介し、もう一度筆者の論を再確認するという展開とした。適宜ペアワークも取り入れ、他者の読解の仕方や考え方を知り、意見交換の機会を設ける。

また、当該教材は結局「深い実存的なかわりのできるコミュニティー」が具体的にどのようなコミュニティーかを提示せず論を閉じている(『生きる意味』内では提示している)。そこで、授業の発展的な内容として、具体的に「中間社会」の崩壊や、「数字信仰」が引き起こす具体的な問題がどのようなものか考えさせ、それを解決するためにはどうすべきかという問いを投げかけたい。

(3) 生徒観

始業のチャイムが鳴る前には席に着き、授業の用意をするなど、非常に意欲的なクラスである。前を向いて話を聞き、板書も取る。積極的に発話する生徒は少ないが、ペアワークでは活発に意見交換をするなど、自分の意見を他者に伝え、他者の意見を傾聴することのできるクラスである。しかし、文章から抜き出すような問題は解けても、文章にない、自分の言葉を使って考える問題に苦戦する。一から何かを考えることが難しいため、解説では答えだけでなく、答えにたどり着く道筋をしっかりと説明していく必要がある。

6 評価規準

知識・理解	語句の意味を正しく理解して読解の一助としている。…ア
読むこと	文章を読んで、構成、展開、要旨などを確実に捉え、説明できる。…イ
関心・意欲・態度	筆者の主張を受けて、「中間社会」の崩壊による諸問題についての興味・関心を広げている…ウ
聞くこと 話すこと	関心を持った事柄について課題を設定し、自分の意見を発表できる。…エ 他者の意見を聞き、自分のものと比較して見解を深めることが出来る。…オ

7 単元の指導計画（45分×4回）

	学習活動	指導上の留意点	評価基準
一時	<p>・範読を聞いて文章の流れをつかむ。意味段落に分ける。</p> <p>1～3段落読解</p> <p><u>目標：筆者の問題意識を捉える。</u></p> <p>①「中間社会」が何を指すか把握し、かつてと今の姿を比較する。</p> <p>②具体例から「中間社会」の崩壊の時代を生きていることを捉える。</p> <p>③「中間社会」の崩壊の時代の「個」の在り方について、筆者の主張を押さえる。</p>	<p>範読前に注意を促す。</p> <p>ワークシート使用</p> <p>「中間社会」の崩壊によって、集団中心の社会から個人中心の社会に変化し、その変化はグローバリズムによってもたらされたという流れを整理する。</p> <p>具体例と主張とがどこに記述してあるかを捉えさせる。</p>	<p>・語句の意味を正しく理解して使える。[知・理]</p> <p>・文章構成をとらえ、正しい答えを的確に抜き出すことができる。[読]</p> <p>・自分の意見をつたえ、他者の意見に傾聴できる。[話・聞]</p>
二時	<p>・前回の振り返り</p> <p>3～7段落読解</p> <p><u>目標：「グローバリズム」と「ナショナリズム・原理主義」の関係と問題点を捉え</u></p>	<p>前回のワークシートを用いて振り返る。</p> <p>ワークシート使用</p>	<p>・語句の意味を正しく理解して使える。[知・理]</p> <p>・文章構成をとらえ、正しい答えを的確に抜き出すことができる。[読]</p>

	筆者の目指すコミュニティが「内的成長」をもたらすコミュニティであることを捉える。	一斉	具体例を受けて、筆者の目指す新しいコミュニティの姿を確認する。	
まとめ 10分	<p>発展ワーク③まとめ問題</p> <p>「新しい社会に必要なコミュニティとはどういったものか具体的に説明する」</p> <p>これまでの内容を踏まえて、わかりやすく説明する。</p> <p>答えの例を読み、自分の解答と比較し、メモを取る。</p>	個人ペア	<ul style="list-style-type: none"> ・設問と答えを見ただけで本文の内容を理解できるような答案を作るよう指導 ・「ワクワクすること」「生きる意味」など、筆者の独自の言葉を一般的な言葉に置き換えて考えるよう指導 ・かつての中間社会との違いについても言及するよう指導 	<p>筆者の主張を論理的に説明できる…【読】</p> <p>筆者の独自の言葉や抽象的な表現を、一般的な文言に言い換えることができる…【書】</p>

	<p>る</p> <p>①グローバリズム・ナショナリズム、宗教的原理主義の単語の意味の把握</p> <p>②グローバリズム、ナショナリズム・宗教的原理主義が表裏一体とはどういうことか把握する</p> <p>③グローバリズム、ナショナリズム・宗教的原理主義が併存することの問題点を挙げる。</p> <p>『「多様な意味」の圧殺』とはどういうことか捉える。</p>	<p>①②③ともに個人・ペアワークを行う。</p> <p>「コインの裏表」がどのような関係か、それぞれの語句がどのような意味を持つのかを捉えてから、その関係性と問題点をつかむ。</p>	<p>・自分の意見をつたえ、他者の意見に傾聴できる。[話・聞]</p> <p>語句の意味を正しく理解して使える。[知・理]</p>
<p>三時</p>	<p>・前回の振り返り</p> <p>7～10段落読解</p> <p><u>目標：「内的成長」の次元とはなにかを捉える。</u></p> <p>①「内的成長」とは何かを8～9段落を読んで端的に答えてみる。</p> <p>② ①の答えを導く流れを説明していく。</p> <p>③「数字・日本人信仰」が、7段落と同様の内容であることを把握する。</p> <p>④「数字・日本人信仰」から脱却するには、他者の「生きる意味」への内的感受性を育てる必要があることを捉える。</p> <p>⑤筆者の主張する「内的成長」とは何かを把握する</p>	<p>前回のワークシートを用いて振り返る。</p> <p>ワークシート使用</p> <p>①読解の練習なのでヒントなしで解かせる。正解がだせなくてもよいことを伝える。</p> <p>③抜き出し問題をだして、隣同士で確認させたあと解説する。</p> <p>④内的感受性を育てるにはどうすべきかを考えさせる。</p> <p>⑤発展として、「内的成長」の次元を無視した実生活での問題を考える。</p>	<p>・語句の意味を正しく理解して使える。[知・理]</p> <p>・文章構成をとらえ、正しい答えを的確に抜き出すことができる。[読]</p> <p>・自分の意見をつたえ、他者の意見に傾聴できる。[話・聞]</p>

<p>四時 (本時)</p>	<p>・前回の振り返り</p> <p>・10～13段落読解</p> <p><u>目標：筆者が目指すコミュニティとはどういうものか捉える。</u></p> <p>①かつての「中間社会」の受け継ぐ点と改めるべき点を確認する</p> <p>②①を受けて、筆者が目指すコミュニティの姿を捉える</p> <p>③まとめとして、新しい社会に必要なコミュニティがどのようなものか具体的に説明する。</p>	<p>ワークシートを用いて振り返る。</p> <p>ワークシート使用</p> <p>①②ともに個人・ペアワーク</p> <p>筆者の主張を参考にして、具体的な問題に目を向け、その解決策や自分なりの考えを書けるようにする。</p>	<p>・語句の意味を正しく理解して使える。[知・理]</p> <p>・文章構成をとらえ、正しい答えを的確に抜き出すことができる。[読]</p> <p>・自分の意見をつたえ、他者の意見に傾聴できる。[話・聞]</p> <p>・筆者の主張を受けて、自分なりの考えを言える。[関・意・態]</p>
--------------------	---	--	---

8本時の指導案(四時)

過程	学習活動	指導形態	指導上の留意点	評価基準
授業前 5分			電子黒板・パワーポイントの用意	
導入 5分	<p>・号令</p> <p>・前回の振り返り</p> <p>・本時の目標</p>	一斉	パワーポイントで確認する。	
<p>本時の目標：筆者の目指す社会の姿を捉える</p>				
展開 本論 ① 15分	<p>・筆者の目指すコミュニティがかつての中間社会とは異なる新しいコミュニティであることを捉える。</p> <p>10～12段落読解 ワーク①</p>	一斉	<p>本文を読み、筆者の目指すコミュニティが①過去の美質を受け継いでいる②抑圧構造を破壊しているという二つの観点から作られていることを念頭に置かせる。</p> <p>かつての「中間社会」の良さがどの段落</p>	

	<p>「過去の美質」とは何か考える。</p> <p>個人ワークのあと隣同士で確認する。</p> <p>ワーク②</p> <p>「抑圧構造」とは何か考える。</p> <p>個人ワークのあと隣同士で確認する。</p>	<p>個人ペア</p> <p>個人ペア</p>	<p>に書いていたか考えさせる。</p> <p>パワーポイントを用いて具体例を確認し、まとめる。</p> <p>1 1 段落を参考に考えるよう伝える。</p> <p>具体例(第二次世界大戦、敗戦後の経済成長)を上げながら解説。7・8段落の「多様な意味」の圧殺、「生きる意味」の捨象と同じような意味であることをパワーポイントにて説明。</p>	<p>一段落の具体例を端的にまとめている…【読・書】</p> <p>十一段落の言葉を用いながら、かつての中間社会の問題点を簡潔に述べるができる…【読・書】</p>
<p>本論</p> <p>②</p> <p>1 5 分</p>	<p>ワーク①、ワーク②を受けて、</p> <p>「新しいコミュニティの再創造」とは、支え合って面倒を見合っていた過去の中間社会の良さを活かしつつ、一人一人の考え方や個性を抑圧していた構造を破壊したものであることを捉え、適宜メモを取る。</p> <p>1 3 段落読解</p> <p>筆者の主張するコミュニティの姿を捉える</p> <p>指示語に注意して、1 3 段落を主張と具体例とに分ける。</p> <p>・相乗的</p> <p>・実存的 という語句の意味を確認しながら具体例を読み進める。</p>	<p>一斉</p> <p>一斉</p>	<p>パワーポイントでまとめたものを示し、順を追って解説する。適宜メモを取るよう指導する。</p> <p>1 3 段落冒頭を読み上げる。</p> <p>指示語が何を受けているかに注目させる。</p> <p>指示語に注目させる。</p> <p>「○○。そうした××」という文であれば、××は○○をまとめた言葉で、○○は具体例にあたることを再度説明する。</p> <p>・「ワクワクすること」や「生きる意味」など、筆者独自の言い回しを一般的な文言に言い換えて説明する。</p>	<p>ワークシートにメモをとり、新しいコミュニティに必要な要素を整理できている…【関・意・態】</p> <p>語句について適宜メモを取り、理解を深めるための一助としている…【知・理】</p>

今日の目標：筆者が指す社会の姿を捉える

1 社会に必要なこと

私たちの「生きる意味」をめぐるコミュニケーションの豊かさを取り戻し、「内的成長」を促す社会を再構成すること。

↓かつてのコミュニティの回復ではない

2 かつてのコミュニティ

ワーク① 「過去の美質」とは何か。

↓受け継ぐべきコミュニティの姿

ワーク② 「抑圧構造」とはどのような構造か。文章中から考えよう。

↓第二次世界大戦 …戦争に不満を持つものはみんな「非国民」とされた。

第二次世界大戦敗戦後：「三種の神器」「3C」など、「豊かさ」の基盤が作られる

3 コミュニティの「再創造」

それは「

- ・「ワクワクすること」を発見し、他の人の「ワクワクすること」と刺激し合って、相兼的に実現していくようなコミュニティ
- ・「苦悩」が受け止められ、深い実存的なコミュニケーションの中から自分の「生きる意味」を発見していけるようなコミュニティ

そうした「内的成長」をもたらすコミュニティの再創造：筆者の主張

発展 ワーク③ 新しい社会に必要なコミュニティとはどういったものか。
具体的に説明しよう。

前回の復習

「内的成長」の次元

=他者の「生きる世界」への
内的感受性を育てること。

=他者を尊敬あるものとしてみること。
他者の「ワクワクすること」「苦悩」に
鋭敏な感受性を持つこと。

=他者の「個性」や「考え方」に思いやりを持ち、
理解しようとする。

今日の目標

筆者の目指す社会の姿を捉える

私たちの社会に今必要なこと

私たちの「生きる意味」をめぐり
コミュニケーションの豊かさを取り戻し、
「内的成長」を促す社会を**再構成**すること。

個人のレベル…

「内的成長」への感受性を高める。
他者の「生きる意味」への配慮ができる

社会のレベル…

個人レベルの意識に支えられながら、私たちの
「生きる意味」を育むような中間世界、
コミュニティーを**再創造**する

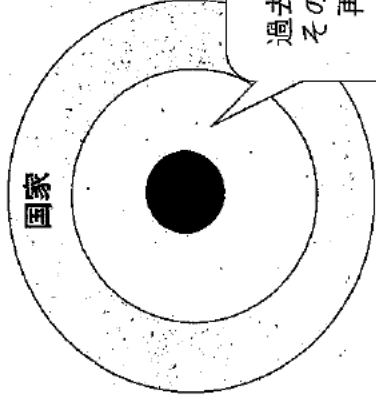
再創造

(51ページ5行目)

私たちがいま目指すべきは

かつてのコミュニティーの回復ではない。

国家



過去の美質を受け継ぎながらも
その抑圧構造をいったん破壊し
再創造したコミュニティー

かつての「中間社会」

ワーク①

「過去の美質」とはどのようなことか。

考えよう。

→かつての「中間社会」の良さはどの段落に書いてあった？

過去の美質 (かつての「中間社会」の良さ)

具体例 (①段落)

地域社会：私たちを支えてきた (46ページ8行目)

会社：私たちの面倒を何から何まで見てくれる

(46ページ10行目)

学校：コミュニティーの中心 (46ページ9～10行目)

あらゆる組織や社会が、
そこに属する人間を支え、面倒を見たこと。

ワーク②

「抑圧構造」とはどのような構造か、
11段落を参考に考えよう。

抑圧構造（具体例）

・第二次世界大戦

「ぜいたくは敵だ」「ほしがりません勝つまでは」
などのスローガンをかかげ、国民全員が戦争に協力する。
→不満を持つものは「非国民」として扱われる

・敗戦後：破竹の経済成長

「三種の神器」「3C」などの、豊かさの「基準」ができる。
→日本中が同じ豊かさを求める

*破竹…勢いが激しくて止められないこと。

抑圧構造

同質的な「生きる意味」を押し付けて、
異質な固有の「生きる意味」を生きようとする人たちを
抑圧する構造。

(⑦「多様な意味」の圧殺・⑧「生きる意味」の捨象)

→破壊する

過去の美質と抑圧構造

過去の美質

あらゆる組織や社会が
そこに属する人間を支え、面倒を見たこと。

過去の抑圧構造

同質的な「生きる意味」を押し付けて、
異質な固有の「生きる意味」を生きようとする人たちを
抑圧する構造

コミュニティの再創造

(それは)

私たちの生きる意味を育むコミュニティー

具体的にどういふことか

- ・「ワクワクすること」を発見し、他の人の「ワクワクすること」と刺激し合って、相乗的に実現していくようなコミュニティー
 - * 相乗的…二つ以上の要因が同時に働くことで、より一層強い効果をしめす様子
- ・「苦惱」を受け止められ、深い実存的なコミュニケーションの中から自分の「生きる意味」を発見していけるようなコミュニティー
 - * 実存的…人が主体性をもつ個人として存在すること

まとめの問題

発展ワーク③

新しい社会に必要なコミュニティーとは、
どういったものか具体的に説明しよう。

同質的な価値観を押し付けるのではなく、
一人一人の個性や考え方を認め、
自分の固有の価値観や個性を発見し、
お互いに成長できるようなコミュニティー